MYパワーNEWS

マイ ニュース

創刊号 2021 2月

株式会社 三河の山里コミュニティパワー 発行

大多賀自治区・草刈りサポートしました！

昨年 12/12(土)、MYパワーの株主（甲種類株）でもある「(一社) 日本福祉協議機構」のメンバー１１名と我々とで、大多賀自治区内にある耕作放棄地の草刈りをしました。

広い土地ではありましたが、参加者が多かったこともあり、背丈ほどのススキの荒原が、１時間ほどでスッキリ片付きました。

今回は 11/10(火)の上八木･山中地区での草刈りに続いて２か所目。できることから地域のサポートを進めていきます。

（地域サービス事業部／集落の課題解決･大多賀担当：庄司）

本誌のネーミング大募集！ プレゼントあり

本誌、MYパワーNEWS(仮)の名称を、皆さんから募集することにしました。あなたの案が採用されるかもしれません！

これまでにご提案いただいたネーミングは以下のとおりです。

- ◆ さんさんレター （「三河の山里」の三と山でさんさん）
- ◆ MYパワー新聞
- ◆ MYパワー四季報

親しみがもてるような、皆さんに愛される名前を募集します。

採用者には足助商工会商品券、または旭の地域通貨･モリ券のいずれか３,０００円分、または山村特産物の詰め合わせをプレゼントします★

応募〆切は**２０２１年３月３１日**（消印有効）。

たくさんのご応募お待ちしております。

（経営企画室／広報担当：林）

応募方法

①お考えいただいた名称、②名称への思い、③住所、④氏名、⑤連絡先を明記の上、メールまたは郵送（下記）でお送りください。

◆ **編集後記～** 昨年 11 月に発行した「創刊準備号」は、多くの皆さんから「ニュース見たよ！」とお声かけ頂きました。やはり、我々のことをもっと、もっと、もっと伝えていく必要があることを実感しました。今回は「創刊号」ということで、冒頭は「地域経済のバケツ漏れを防ぐ」お話にしました。MYパワーの考え方の根本部分になります。次回はもうひとつの柱の「地域自治をサポートすること」について取り上げたいと思います。（経営企画室／広報担当：庄司）

株式会社 三河の山里コミュニティパワー

〒444-2351 愛知県豊田市岩神町仲田20 足助病院内（サテライト･サロン）

Tel.0565-61-2773（たすけあいプロジェクト事務局） Fax.0565-61-2772

http://www.my-power.jp E-mail：info@my-power.jp

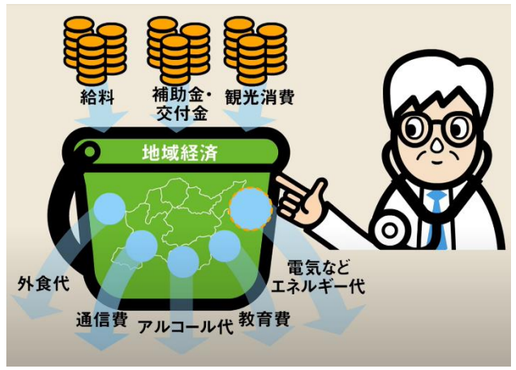
「地域のおカネ」は、外に漏らさない

「地域経済のバケツ漏れ」という考え方をご存じでしょうか？ 図のように「バケツ＝地域」の「お水＝おカネ」に例えて、地域内のお金の流れを示した経済循環の考え方です。

地域に入ってくるおカネは、地域住民のお給料や年金、行政からの補助金などで、一部は地域に残りますが、バケツの穴から、外食やお酒代などの食費、電話代･インターネット利用料など、地域住民が消費した多くのおカネが地域外に流出しています。特に電気･ガス･灯油や車のガソリン代などのエネルギー関係の穴は非常に大きいと言われています。

我々が専門家に依頼して行った統計調査によると、豊田市山村地域（準山村含む）から年間２５.５億円の電気代がバケツ漏れしていることが見えてきました。この電気代の穴を少しでもふさぐことが出来れば、地域内におカネが残り、地域内で循環することになります。

MYパワーは地域密着の電力会社として「地域経済のバケツ漏れ」を防ぎ、地域経済循環の起点となることを目指しています。電力小売事業で得た利益の一部を活用して、「たすけあいプロジェクト」をはじめとした地域の困りごと解決に役立つ地域サービスを展開していきます。（中面に続く…→）



スタッフのひとこと 65 歳で定年となる足助病院院長職を 3 年延長して十分仕事をしたと思いましたが、68 歳になっても新しい会社の代表に就いてしまいました（早川）

加えて、その電気の発電所も地域内に作ることが出来れば、より地域内におカネが落ちるため、太陽光発電や小水力発電、バイオマス発電など再生可能エネルギーの電源開発も順次進めていきます。

なお、ＭＹパワーが取り組む「地域経済循環」のことを分かりやすく紹介したアニメ（YouTube 動画）が弊社Ｗｅｂ「No.3『地域に元気がない!?』（地域内経済循環）」にあります（右のＱＲコード参照）。ぜひご覧ください。（経営企画室：村田）

足助病院・ＰＶカーポート、寄付のお願い！

ＭＹパワーの基本理念のひとつに【地域の人たちの手で、地域のお金で】があります。

コロナ禍で再認識したことは、医療崩壊の恐ろしさ。地域の拠点病院は地域で支えていきましょう。日頃お世話になっている足助病院を一緒に支えませんか。神社の瓦の寄進のように、太陽光発電（ＰＶ）を載せたカーポート建設の寄付を募集します。一口千円から。銘版にお名前を明記させていただきます。

なお、ご自宅、事業所、もしくは地域、集落単位で再エネを設置してみたい人たちの相談窓口も設けます。お気軽にご相談ください。設置費用についても様々な仕組みを用意しています。（エネルギー事業部：萩原）

稲武「ブルーベリーのこみち」さん、電力を切替えて頂きました！

稲武地区（野入町）にある「ブルーベリーのこみち」さんをご紹介します。稲武の建設会社「杉田組」さんの新規事業として、2005 年に休耕地を利用してブルーベリーの栽培をスタート。現在は４ヘクタールの農園で、4,200 本のブルーベリーを育てています。2012 年からは、ブルーベリーの加工・販売に取り組み「Ｍａｋｏ こみちのケーキ屋さん」をオープン。農地で採れた完熟ブルーベリーを使用したジャムやジュース、ケーキ等を販売。特に焼きたてのブルーベリーパイは絶品です！（写真）

我々はオーナーの杉田雅子さんの、ブルーベリーにかける熱い想いと行動力に感銘を受けました。偶然、我々がお伺いした日も、東海農政局から「ディスカバー農村漁村の宝」として表彰を受けておられました。

我々の理念にも賛同いただき、今後は耕作放棄された地域でブルベーリーを農福連携で栽培したり、再エネ発電など、新たな取組みが始まりそうです。（エネルギー事業部：関原）

60 歳の夢は叶わなかった。70 歳でアスリートを目指す夢は叶えたい。この 2 年はみなさんと会うために、山間地域をしっかり歩こう（萩原）

移動にお困りの、足助･旭の方いませんか？

高齢者の「健康見守り」と「移動支援」、「お出かけ促進」の３本柱で展開中の「たすけあいプロジェクト」。親子のつながりと地域の支えあいを大切にしながら、地域全体で一人ひとりの健康寿命を延ばしていくことが、この取り組みのねらいです。現在、足助･旭地区で５５名の方が参加。プロジェクトの柱のひとつが、高齢者の移動支援を行う「たすけあいカー」です。

ボランティアドライバーの皆さまのご協力により、２０２０年は２４０件の利用があり、高齢者の移動をサポートしてきました。コロナ禍の外出自粛の影響もあり、昨年度より利用件数は減ってしまいましたが、地域の移動手段を補う方法のひとつとして、少しずつ地域に根付いています。

とはいっても、「よくわからないなぁ」という方が大勢いらっしゃると思います。

たすけあいプロジェクト

① 健康見守り

- 人感センサーを活用（カメラではない）
- 離れて暮らす家族をスマホで見守り
- 生活異変に気づける

② 移動支援

- 住民同士で移動を助ける
- 電話やタブレットで予約
- ドライバーにポイントで燃料代（実費）を支払い

③ お出かけ促進

- 高齢者向けイベント実施
- 移動･お喋り･健康を促す
- 例：ものづくり、健康教室

足助・旭地区で移動に困っている方がいらっしゃいましたら、まずは事務局にお電話ください。また、皆さんがお集まりの機会がありましたら、訪問説明もいたします。

タブレットを使わず電話予約できるプランや、無料でお試しができる期間限定のキャンペーンもご用意しております。お気軽にお問合せください。ドライバーとしてご協力いただける方も大募集です！

（地域サービス事業部：浦野）

お問合せ先：６１－２７７１
受付時間：平日９時～１７時

敷島自治区の「支え合い」に参画！

敷島自治区（旭地区）では、住民の発意から２０１０年に「しきしま♡ときめきプラン」を策定。自分たちで決めたことを粛々と１０年間行動に移してきた結果、ＵＩターン者が９８人、年間延べ 5,000 人に及ぶ交流人口増に至っています。

２０２０年に再編された同プランの「支え合い社会創造プロジェクト」にＭＹパワーも参画することになり、まずは、中学生以上の全住民による「困りごとアンケート」を一緒に実施。この結果をもとに、住民同士の支え合いマッチングの仕組みづくりを進めていきます。

アンケートの回収率は９割近く。この取り組みに対する住民のみなさんの積極的な気持ちが伝わってきます。

なお並行して、この取り組みの原資づくりとして敷島の方々と一緒に弊社への電力切替も進めていく計画です。

（地域サービス事業部／集落の課題解決･敷島担当：村田）

毎日寒い！去年は右足だけだったしもやけが、今年は左足にも定住。お腹とつま先にカイロを貼って今日も頑張ります（浦野）